

交 × 触 × 感

～鹿児島県の魅力を“五感”で感じ、鹿児島県の歴史やモノに触れながら過ごせる分散型ホテル～

小泉研究室 21uh601 森田さくら

① 研究の背景及び目



鹿児島県にはショッピングモール的な商業空間が増え、本来の鹿児島県の魅力を感じられる施設が少ないと考えた。その為、地元人や観光客に“鹿児島県の魅力”を知って貰える空間と観光客・地元人に愛される街にしたいと考えた。そこで鹿児島県の魅力や問題点、地域の特徴など様々な可能性を調査・検討した結果、本研究では観光地歴史的建造物が残る“鹿児島県市吉野町”に宿泊施設を中心とした地域に貢献する分散型ホテルを計画する事にした。そして、宿泊を通して鹿児島県の魅力を“五感”で歴史やモノに触れ過ごすことの出来るホテル空間を目指すことを方針とした。

② 鹿児島県の問題と対象敷地の魅力と活用の方向



問題①: 火山灰資源

火山灰が大量に余ってる

→室内外環境に優しく、強度・耐久面が良い

シラスコンクリート=建物の構造材

→「環境型シラスコンクリート」の世界初の建築「R・トルソ・C」



建築物



火山灰アート

問題②: 高齢化

全国で上位



問題③: 空き地・空き家

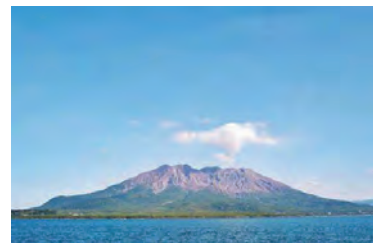
敷地と周辺の特徴を活かし宿泊棟やカフェなどを計画

車の渋滞・アクセスしにくさや方法を解決する為、駅舎の計画



魅力①: 温泉

宿泊者はもちろん宿泊者以外にも利用出来る温泉施設



魅力②: 桜島と錦江湾

鹿児島県のシンボルである2つをセットに眺められる客室

や食事を楽しめる空間

魅力③: 世界遺産や歴史的建造物

歴史や神社巡りガラス作り、仙巖園、異人館など四季折々の景色・行事を満喫
建物は既存のまま利用して周辺の敷地に新しい機能を追加



魅力④: 県木・工芸品

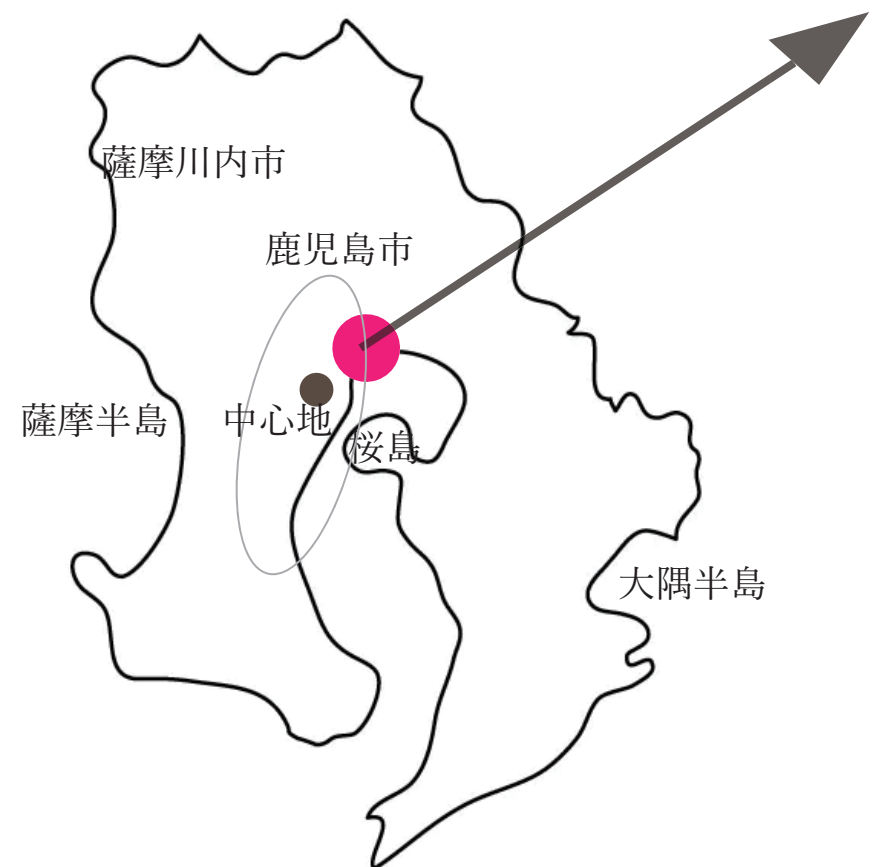
県木のクスノキ・屋久杉、日本一の竹林面積である竹、

薩摩焼や薩摩切子、大島紬

→空間づくりや内装のインテリア、壁紙や家具の柄・素材に取り入れる

③ 対象敷地に関して&エリア分

○鹿児島県市吉野町



人口:36,194人 (2020.10.1)

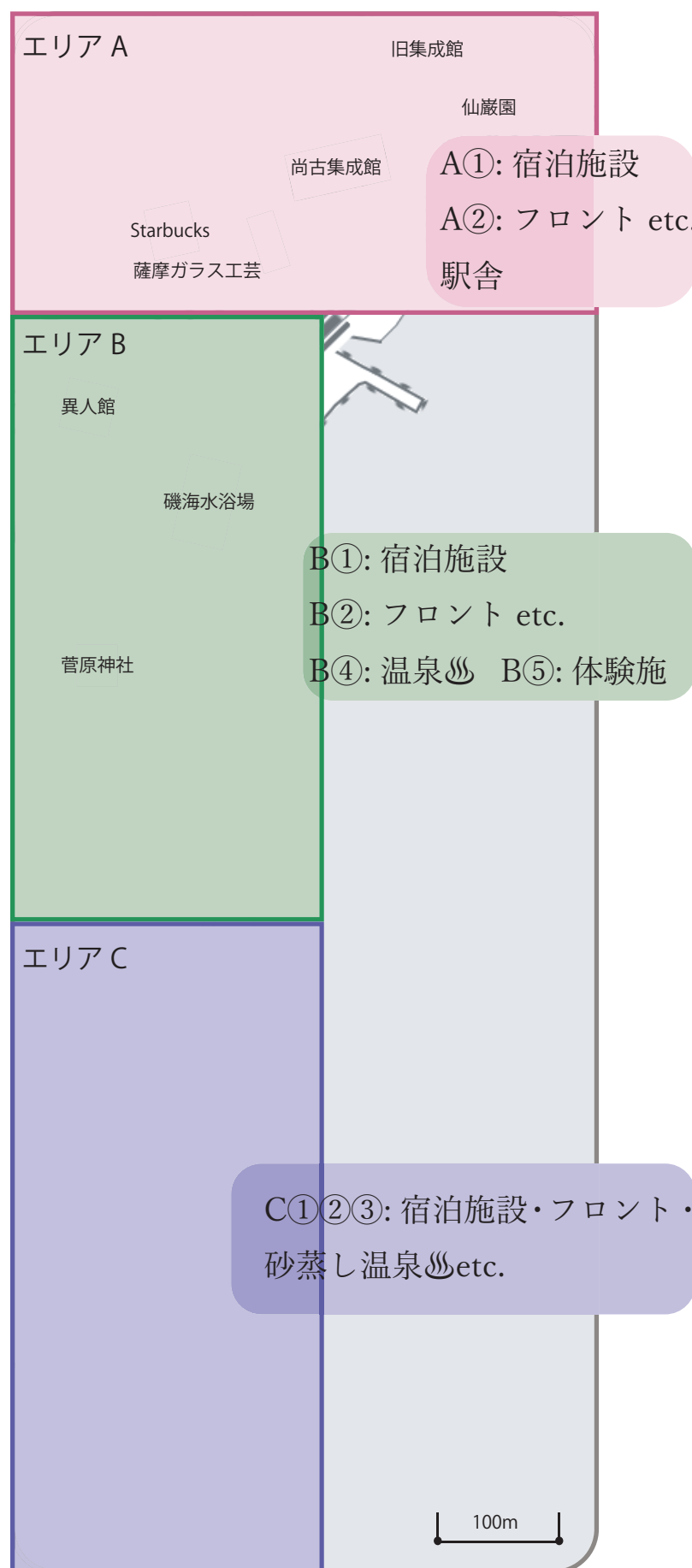
鹿児島県の薩摩半島に位置する

土地が高台に位置する地域もある広範囲の街

高台と海沿いからは景色が絶景

☆街の大きな特徴・・・

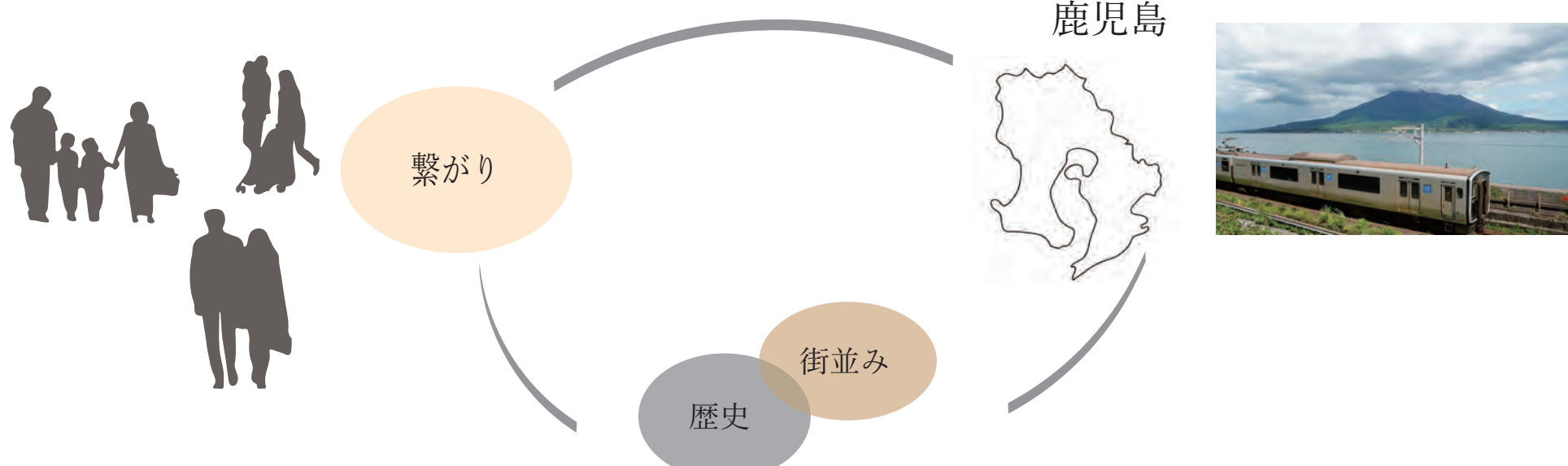
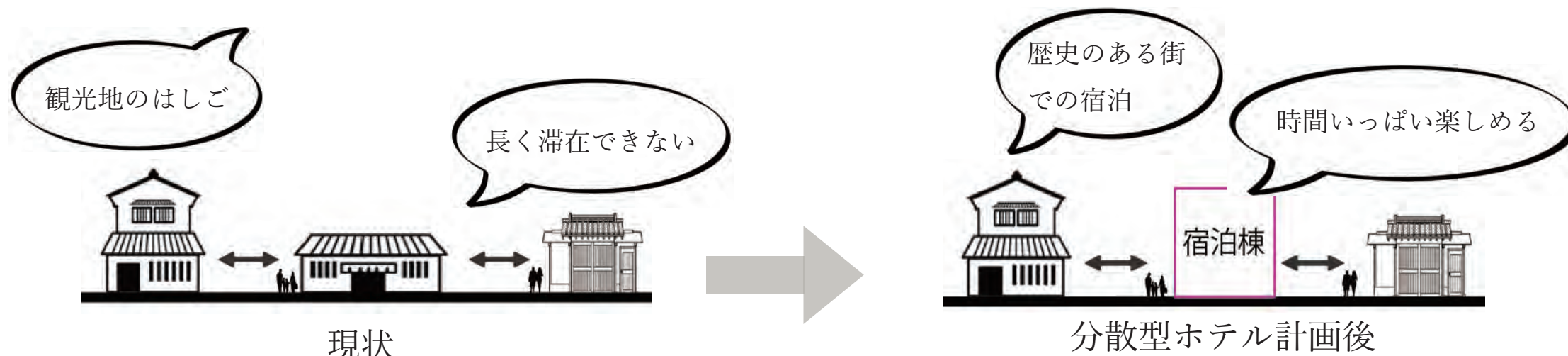
世界遺産や歴史的建造物が残る街



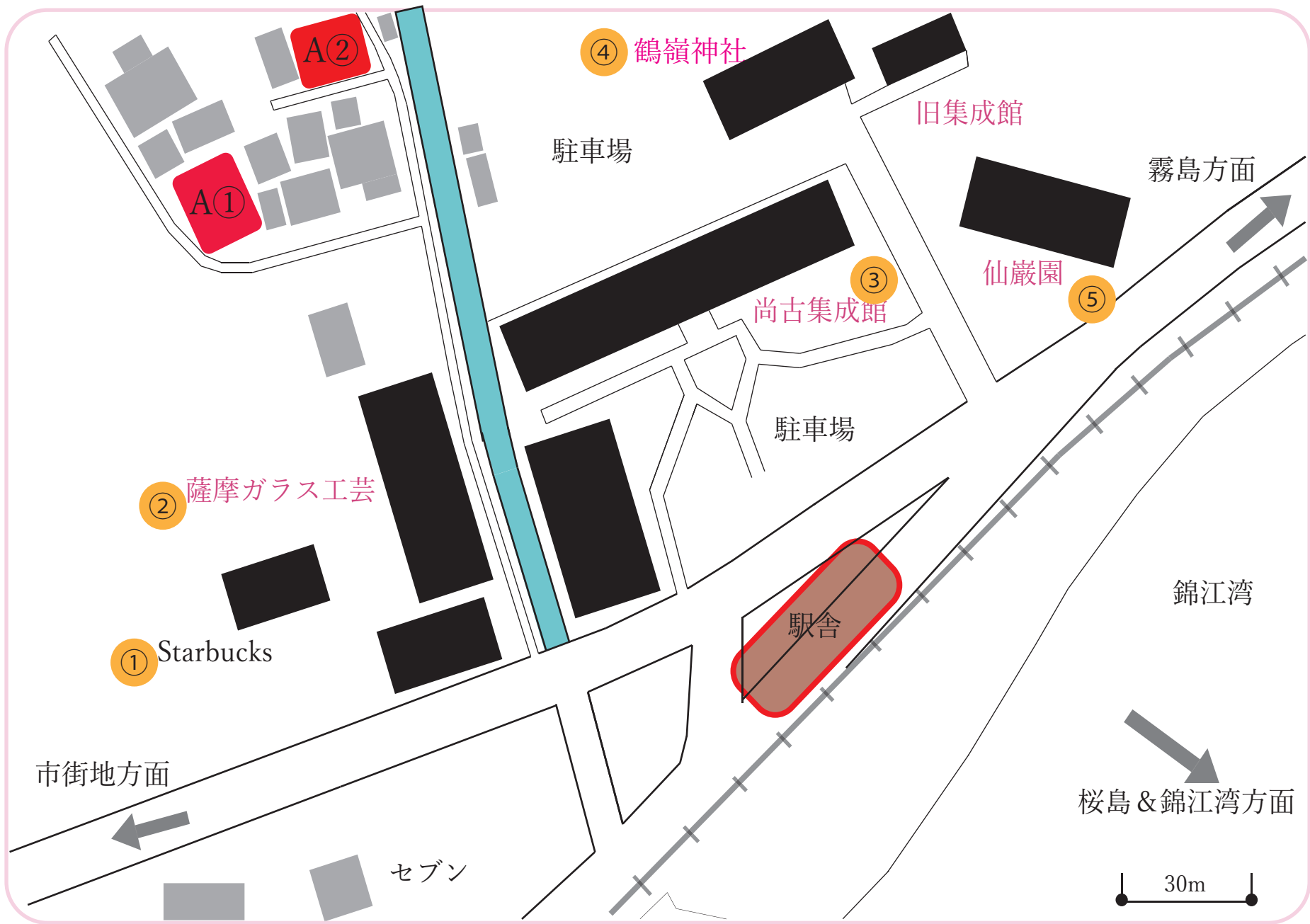
④ 提案・コンセプト



- ①出会い・繋がり：鹿児島県の魅力に触れ、人・モノに出会い鹿児島と繋がる場
- ②外部と内部：外や見た目の魅力だけではなく、内（うち）の魅力を知ってもらう場
- ③学びと発見：分散型ホテルでの長い滞在をえて、より鹿児島県の魅力と歴史に触れることが出来る



5 エリア A



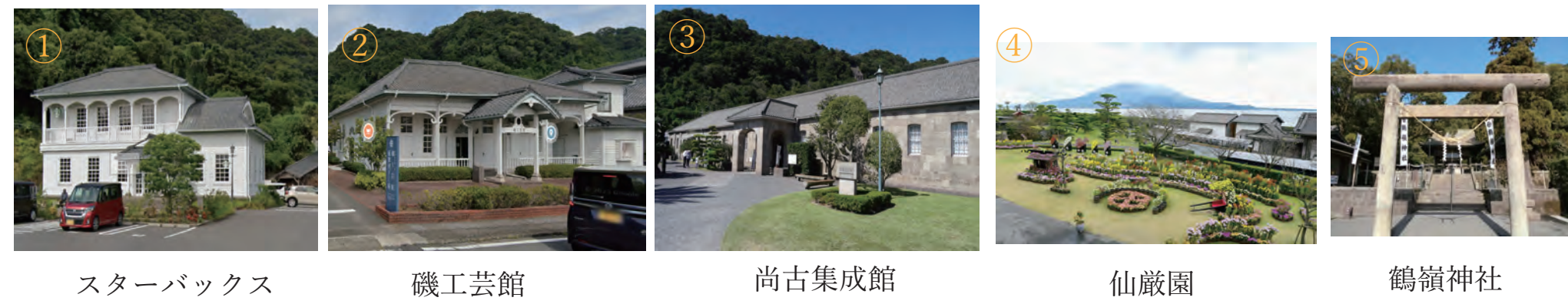
5-0 エリアの特徴

世界遺産や歴史的な建造物が残り観光地化した、多くの国内外の観光客が集まるエリアである。

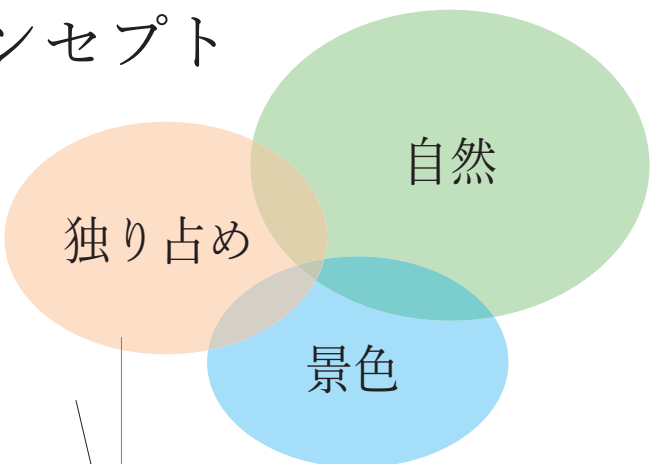
5-1 計画用途

A①: 宿泊施設 A②: フロント・レストラン 駅舎

5-2 観光要素



5-3 コンセプト



自然に囲まれた"空間"
空間と空間の"移動"

特別感と非日常

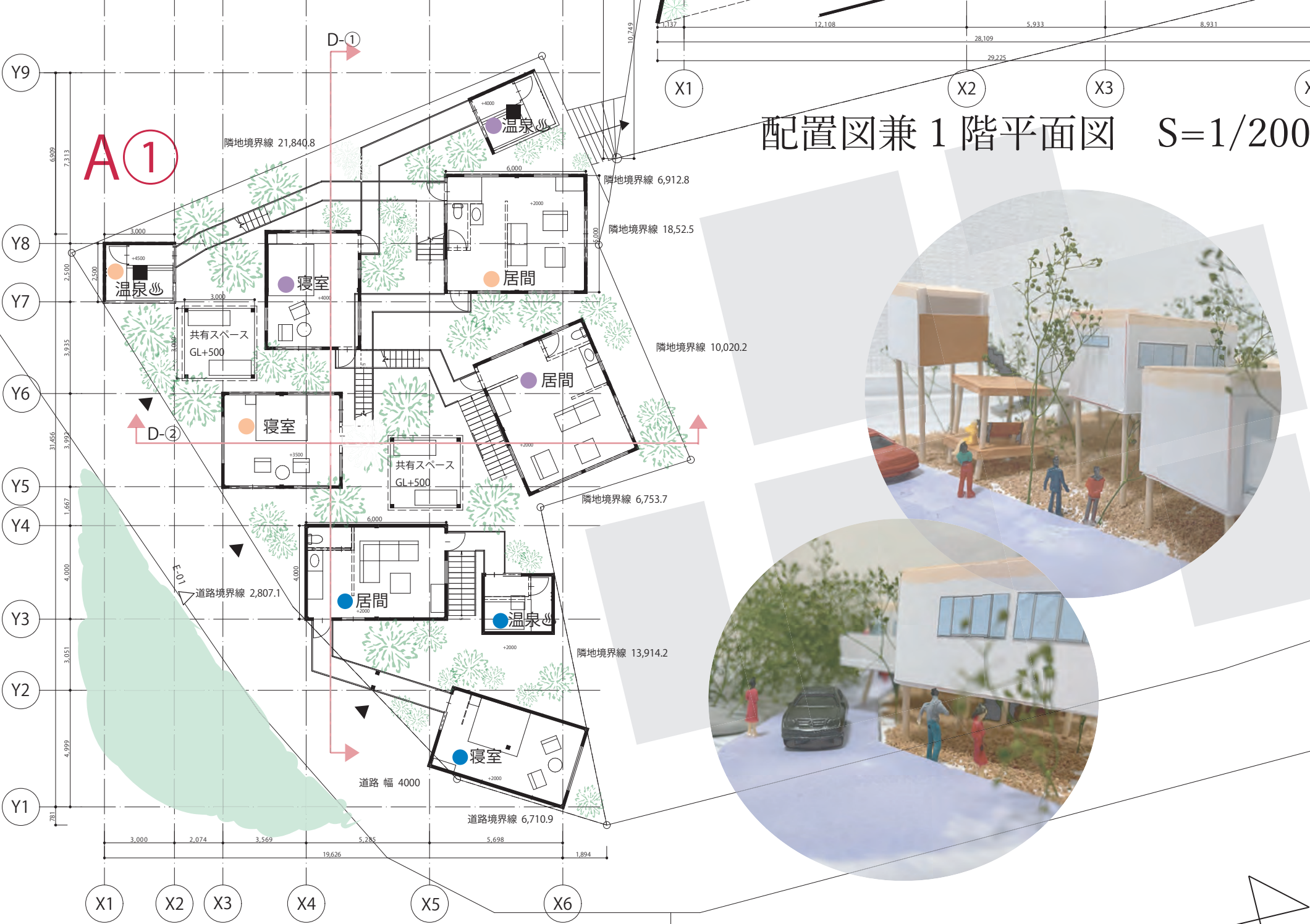


5-4 敷地の現状と活用・計画提案



集合住宅
空き家と空き地
↓
宿泊施設

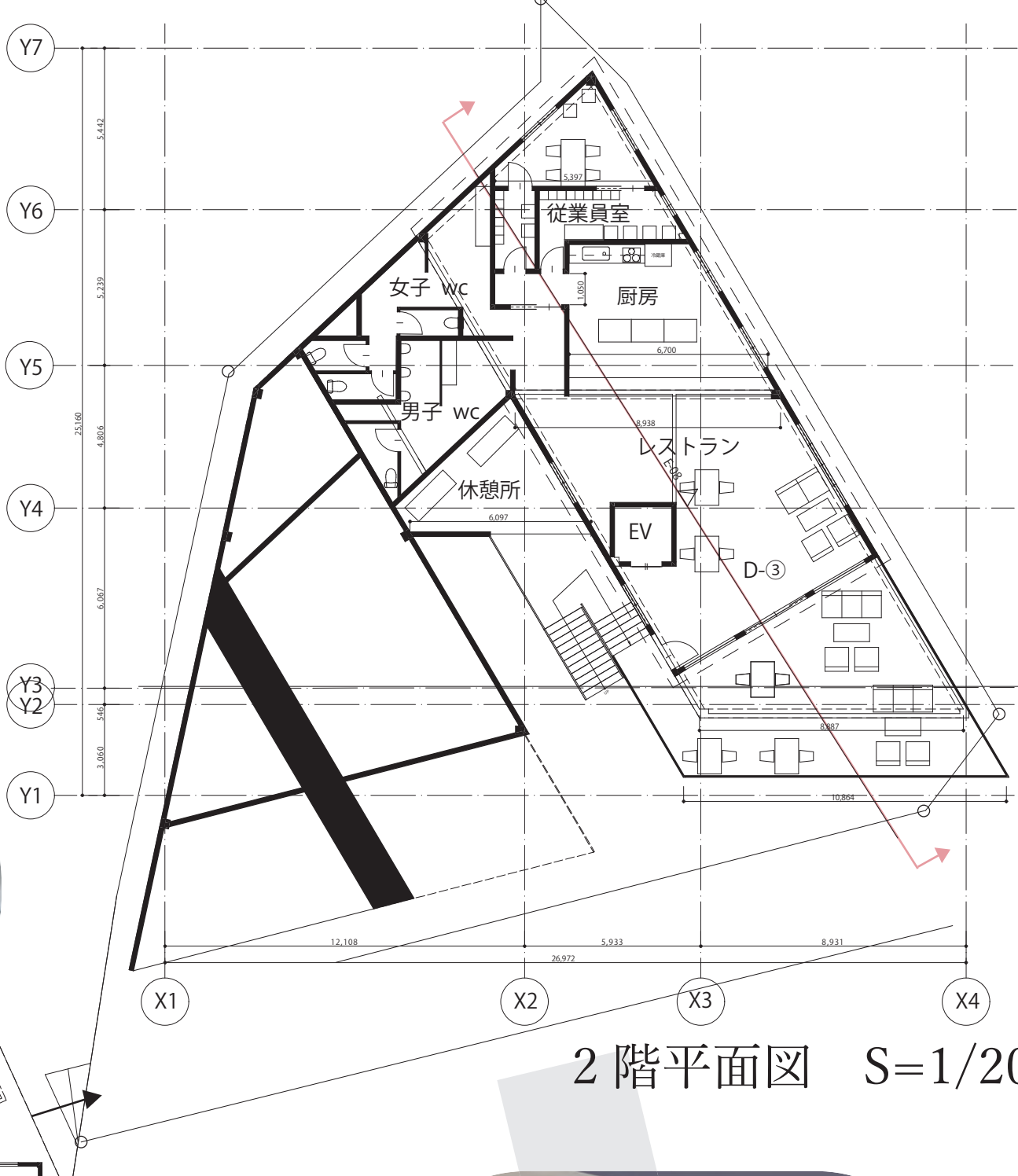
- ・ ツリーハウスのような空間配置。
- ・ 各部屋が独立した空間配置。
- どこの部屋からも自然と視線が景色を楽しむ。
- ・ 寝室やリビングは、自然の中で過ごしているかのような普段の生活では体験出来ない空間。



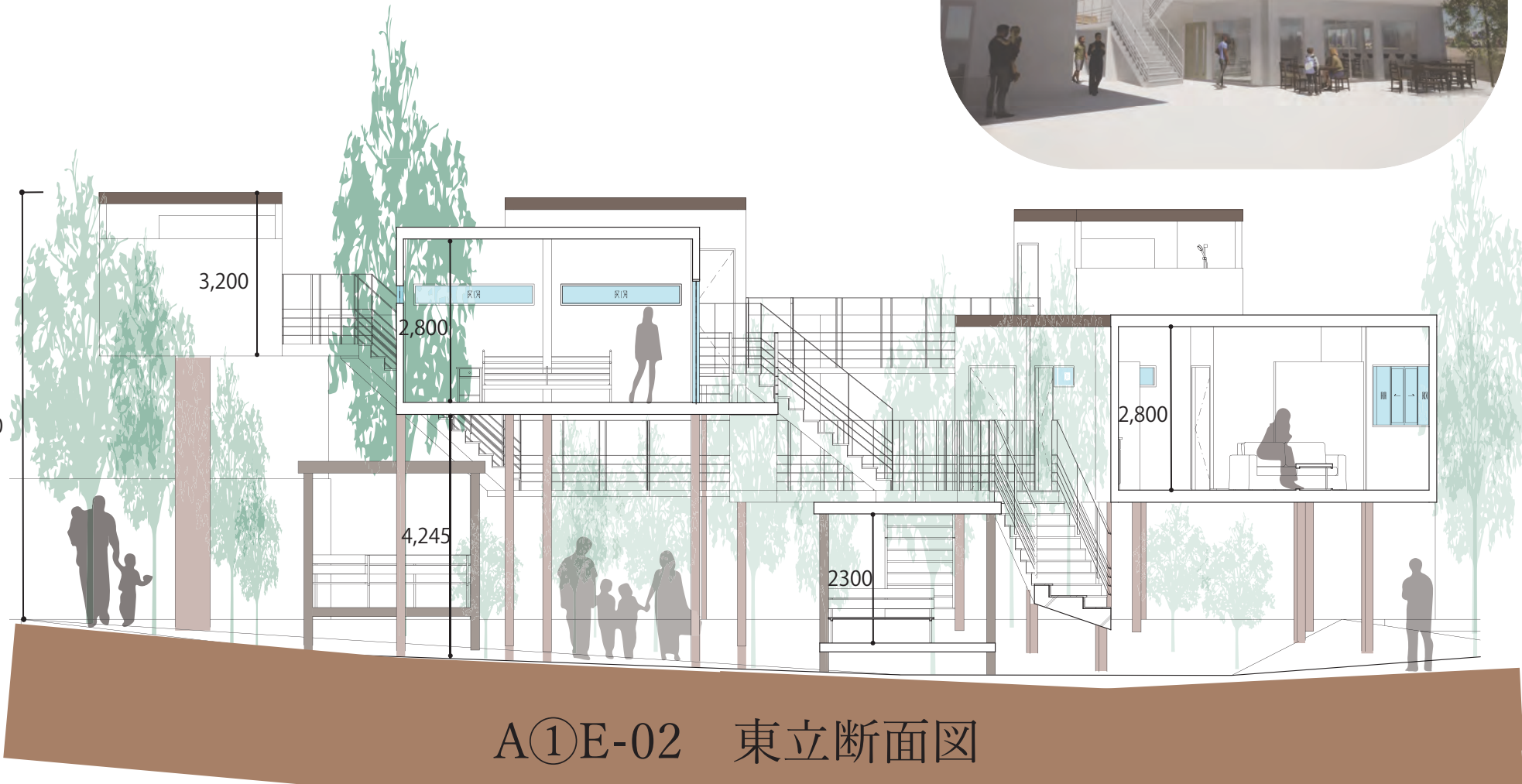
配置図兼 1 階平面図 S=1/200



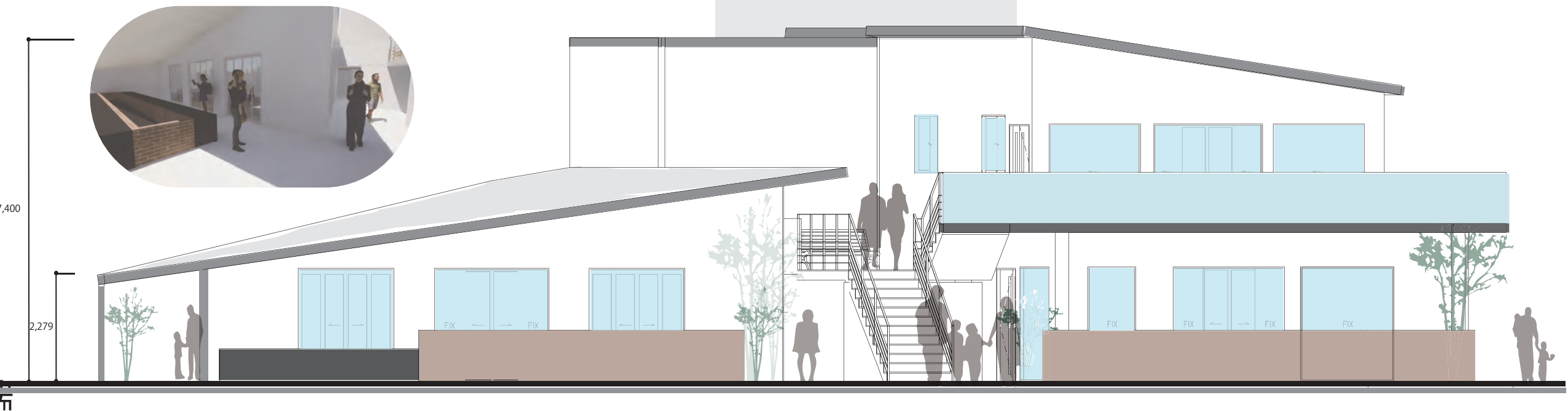
フロント・カフェ



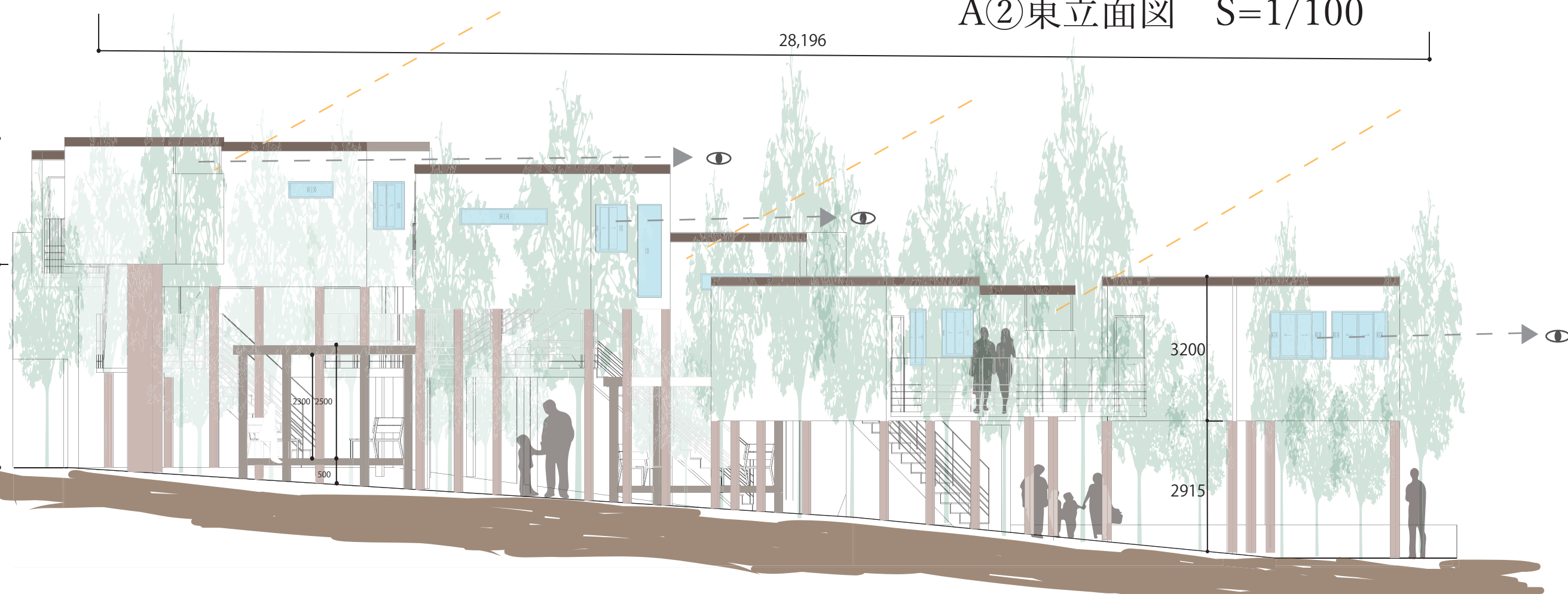
2 階平面図 S=1/200



A1E-02 東立断面図



A2東立面図 S=1/100



A1南立面図 S=1/100

★駅舎計画

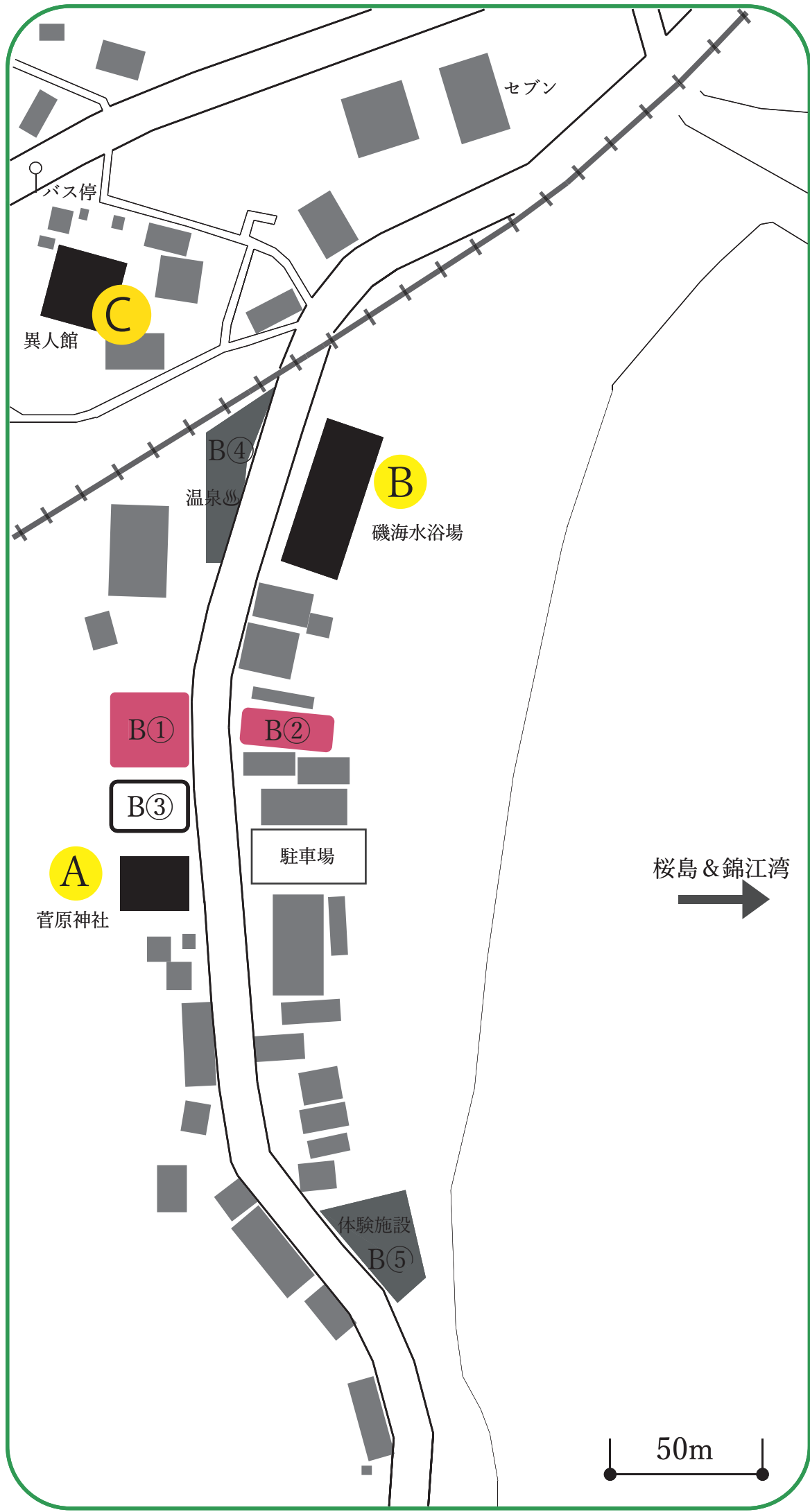


- ・ 線路沿いの位置する為、小規模な駅舎を計画。
- ・ 渋滞緩和だけではなく、エリア A へのアクセスがしやすくなることを考えた。

配置図兼 1 階平面図 S=1/200



6 エリア B



6-0 エリアの特徴

海沿いに面した敷地が多く並び、海水浴場や神社があるエリアである。また市内に向かうほどマンションや住宅が並んでいる。

6-1 計画用途

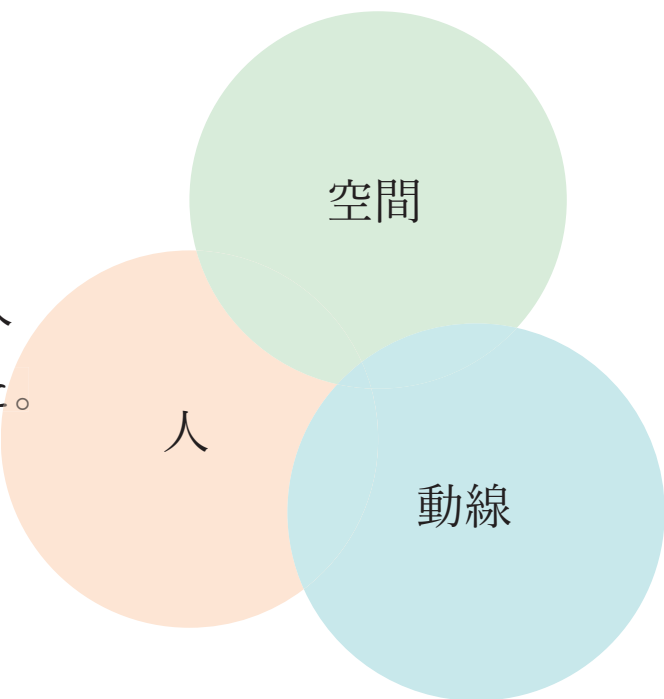
B①: 宿泊施設・店舗、駐車場 B②: フロント、レストラン
B④: 温泉 B⑤: 体験施設

6-2 観光要素

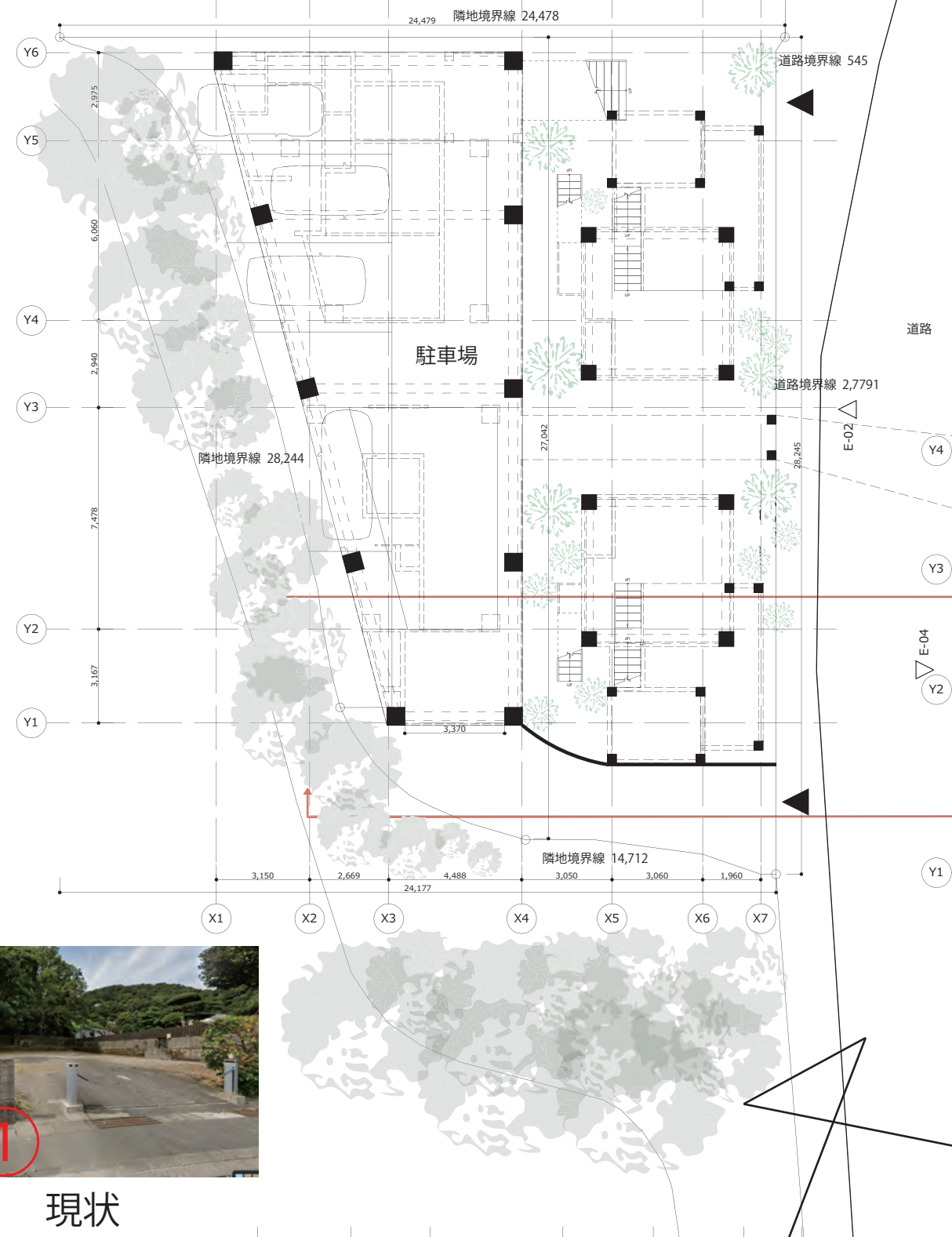


6-3 コンセプト

人と人が交流する場となる空間をもとに、宿泊者同士だけではなくその場に訪れた人とも交流出来る場所となるよう計画した。交わるをイメージした動線や建物の造り、外観を考えた。

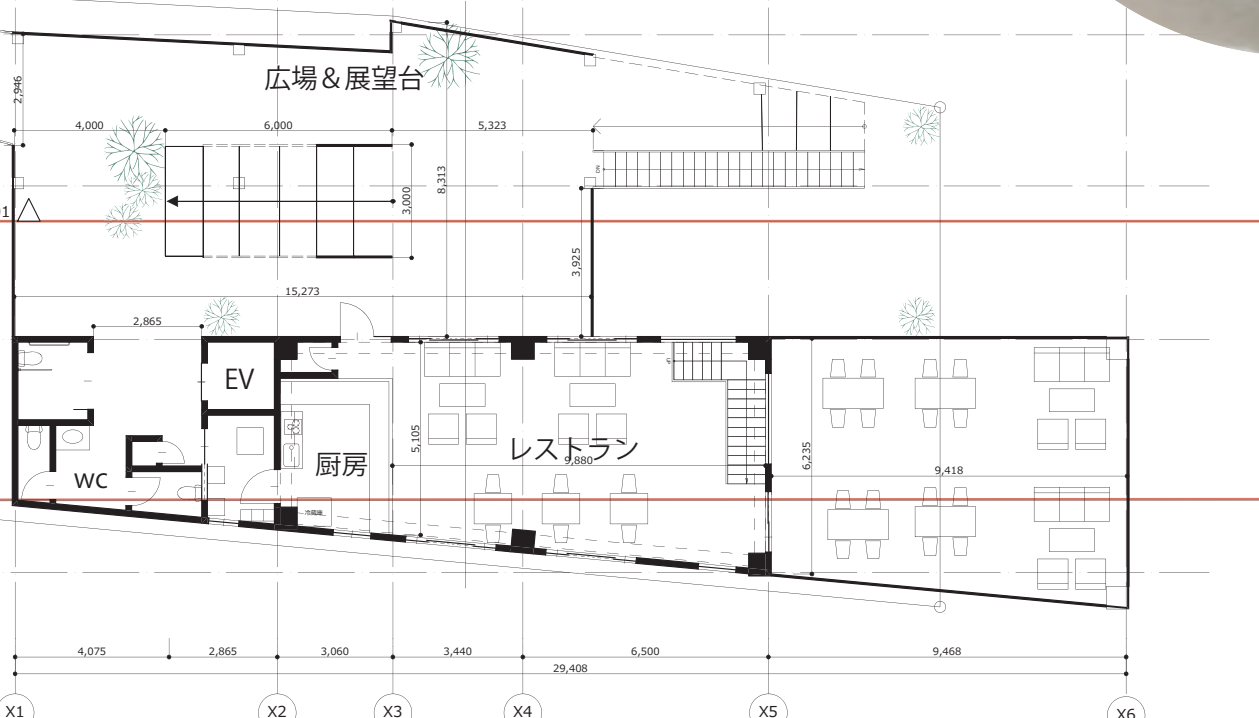
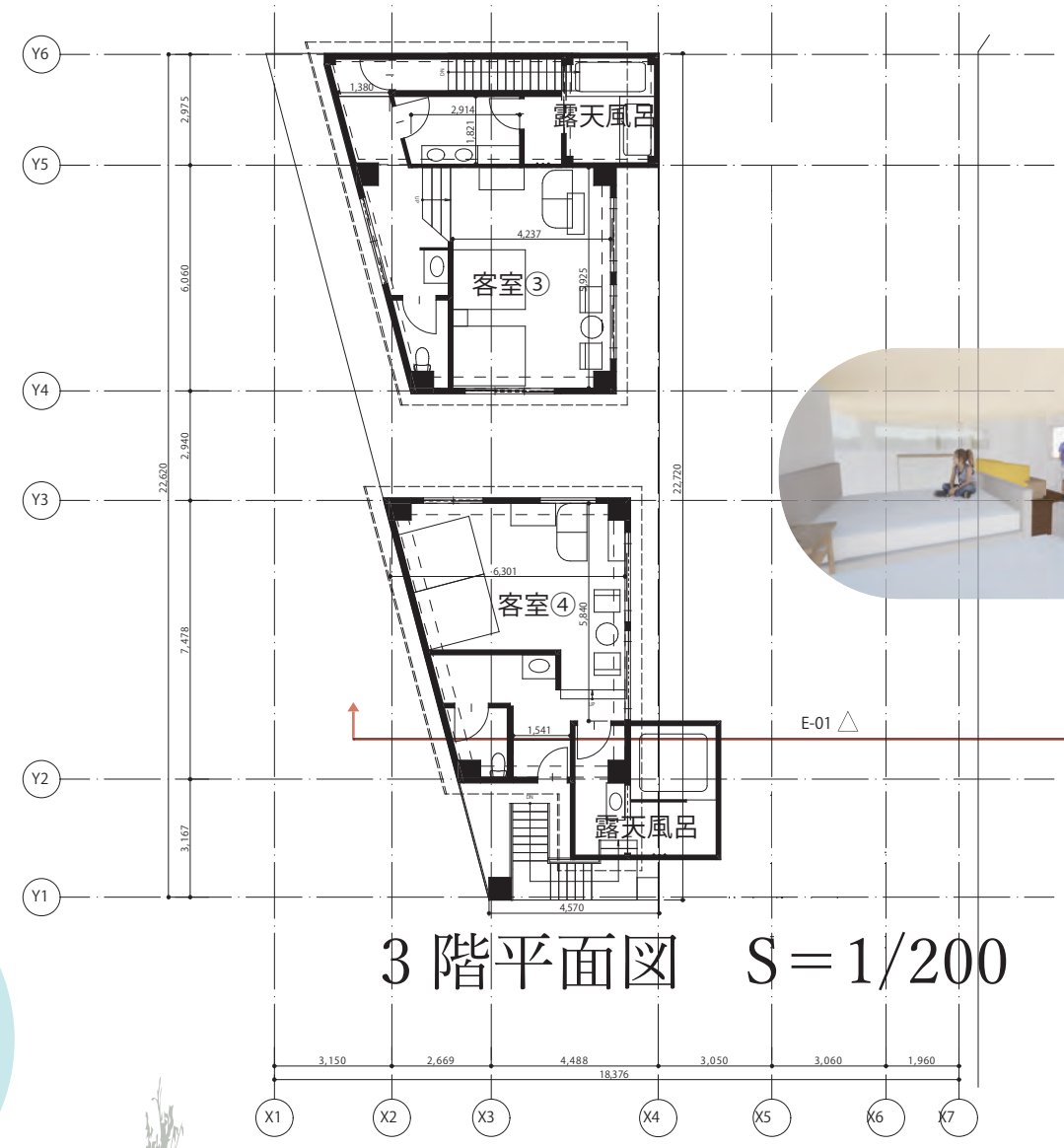
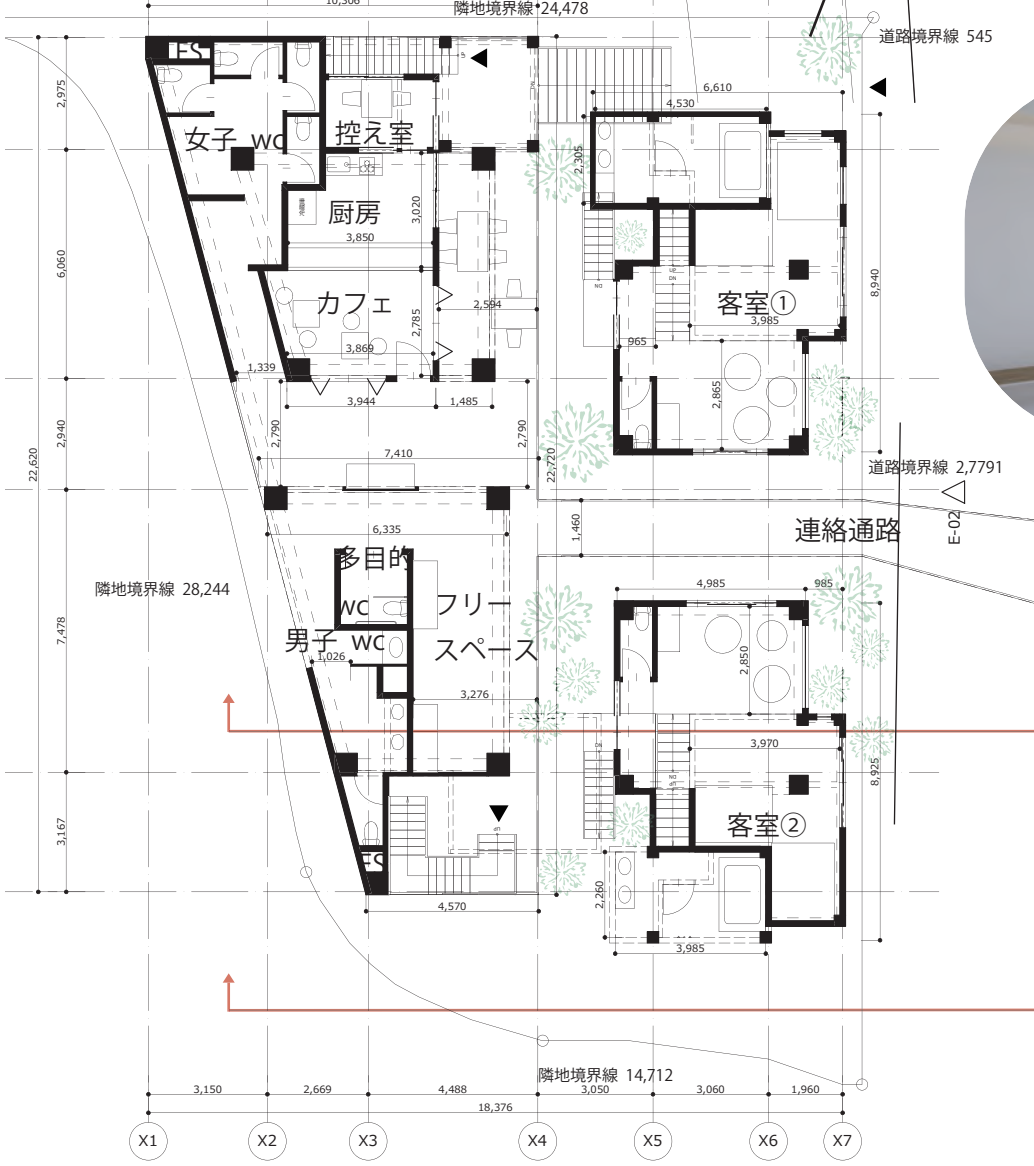


- ・宿泊施設と広場が合わさった空間。
- ・2つの敷地が繋がり、客室内からも外部との繋がりがある空間
- ・B①は、1階に広場と宿泊施設の一部、2階にプライベート空間の客室と共有部分を計画する。客室のプライベートな部分は共有部分から距離を離しつつも景色を楽しめる配置
- ・B②は、1階にフロントとレストラン、2階にB①に繋がる通路と景色を眺められる階段を計画



現状

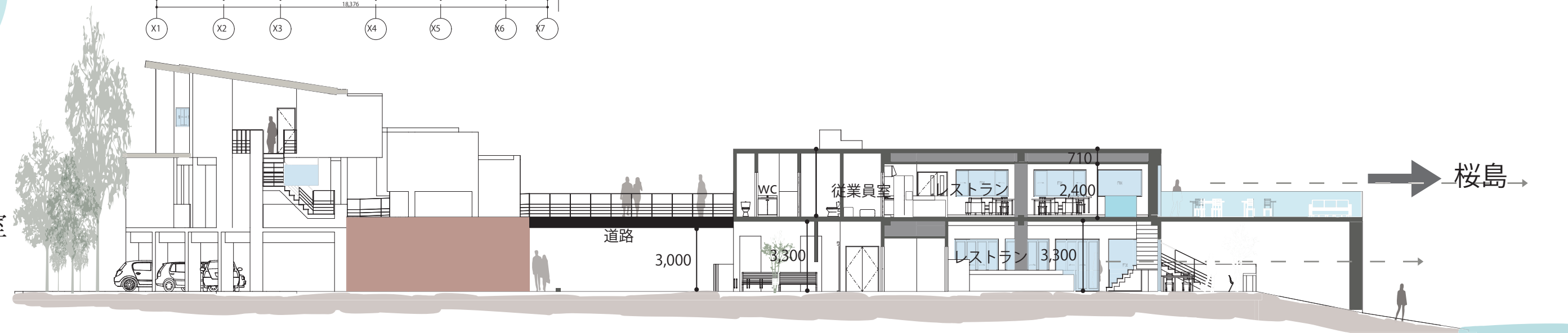
配置図兼1階平面図 S=1/200



2階平面図 S=1/200



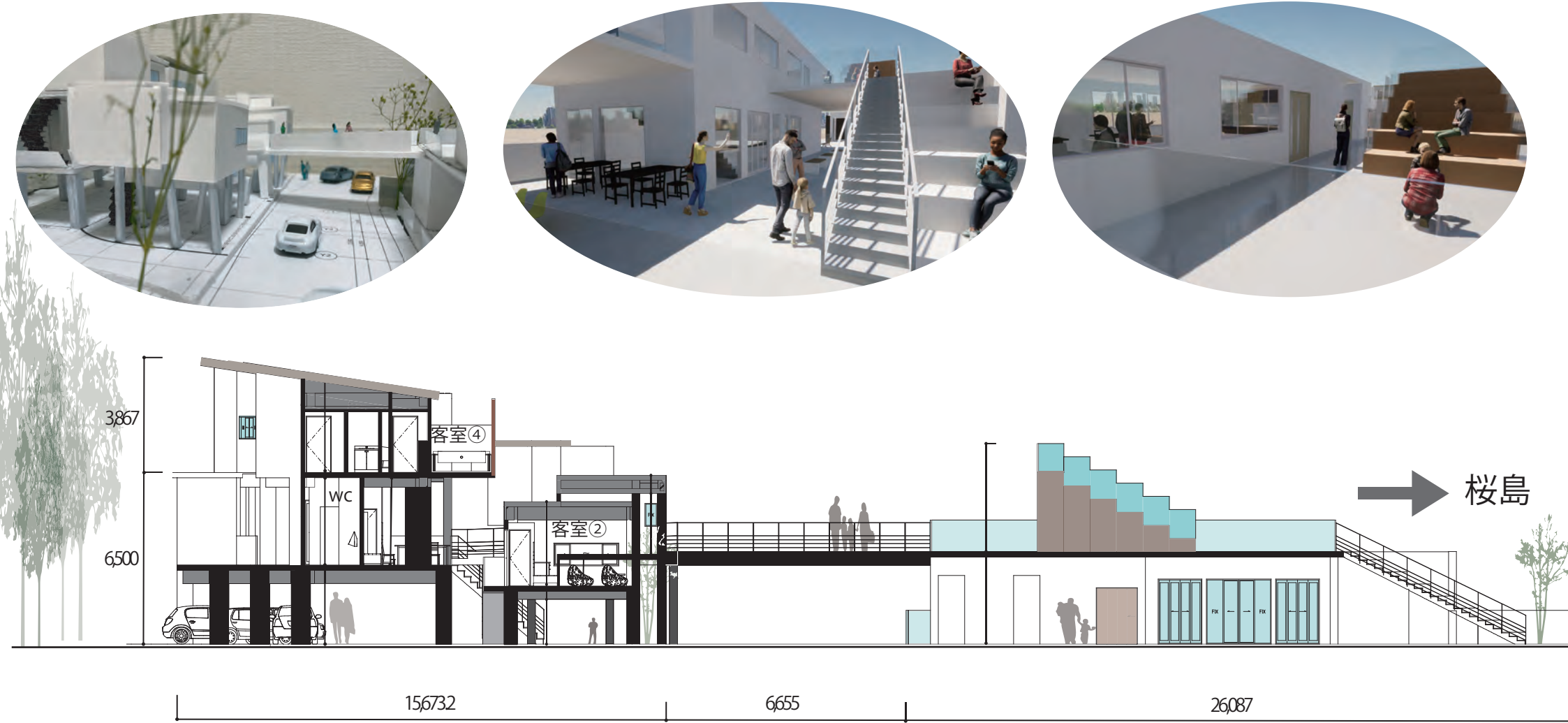
A②西立面図 S-1/100



A①②南断面図 S-1/200

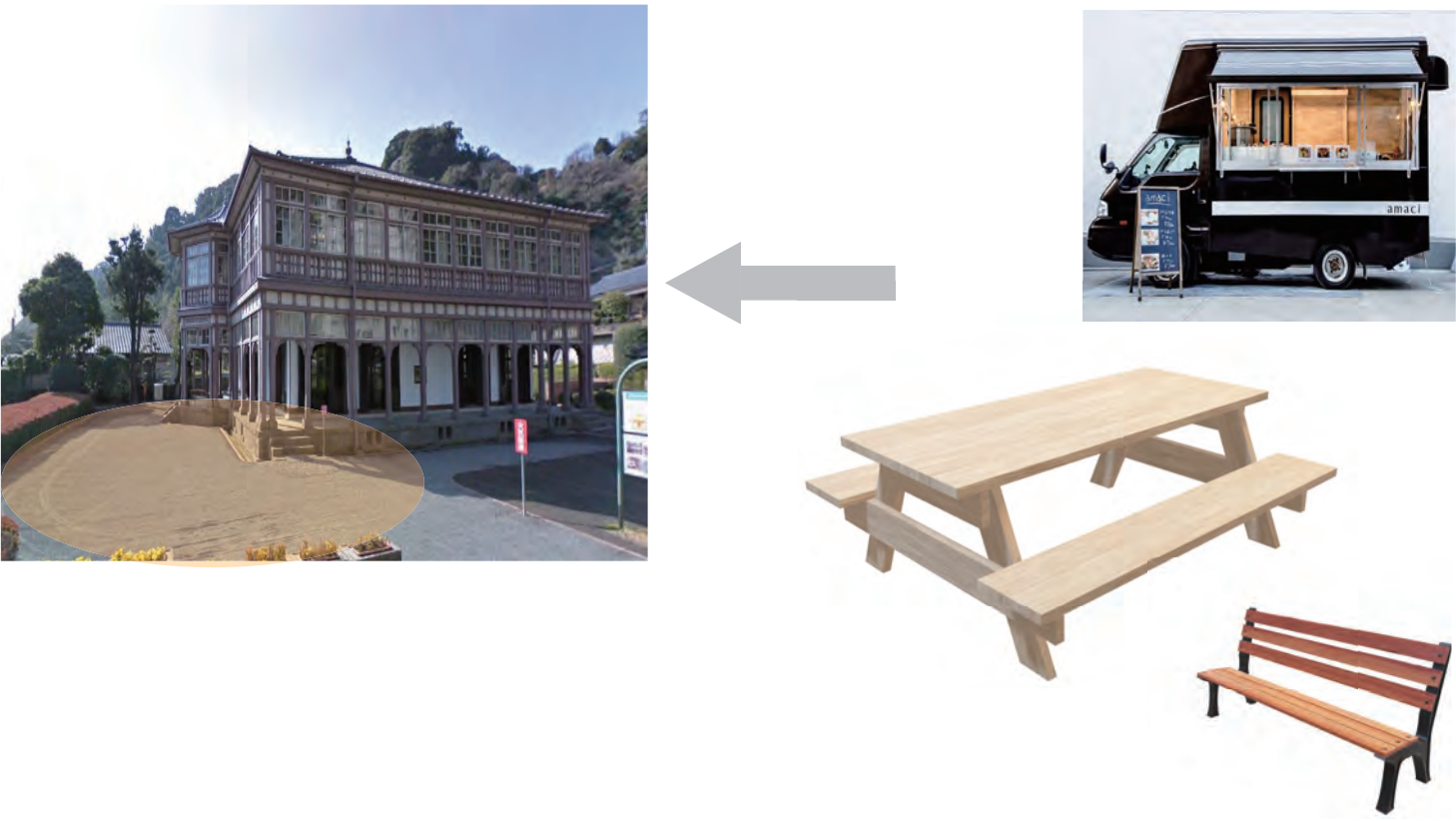


A①東立面図 S-1/100



A①②南断面図 S-1/200

6-3 (1) 異人館の余白



異人館の外部空間→休憩出来る場所を設置
移動式のモノを配置→天候に合わせて動かすこ

6-3 (2) 温泉施設

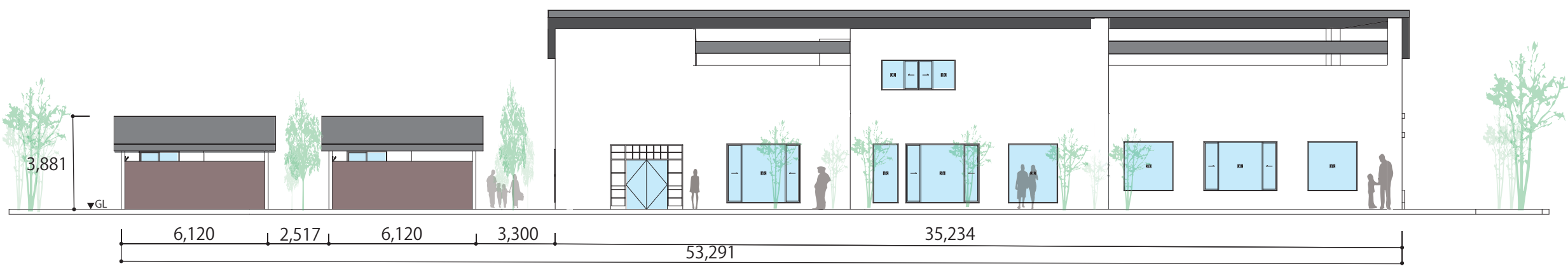
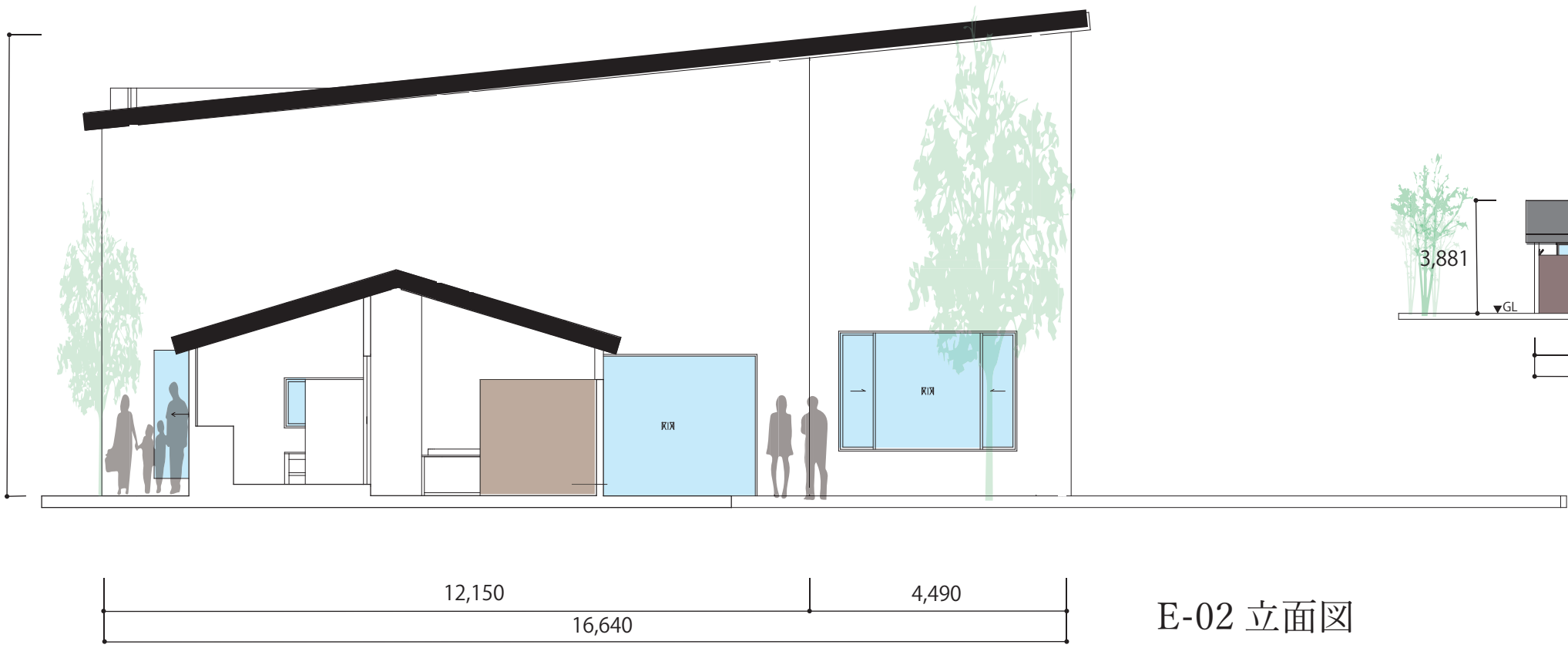
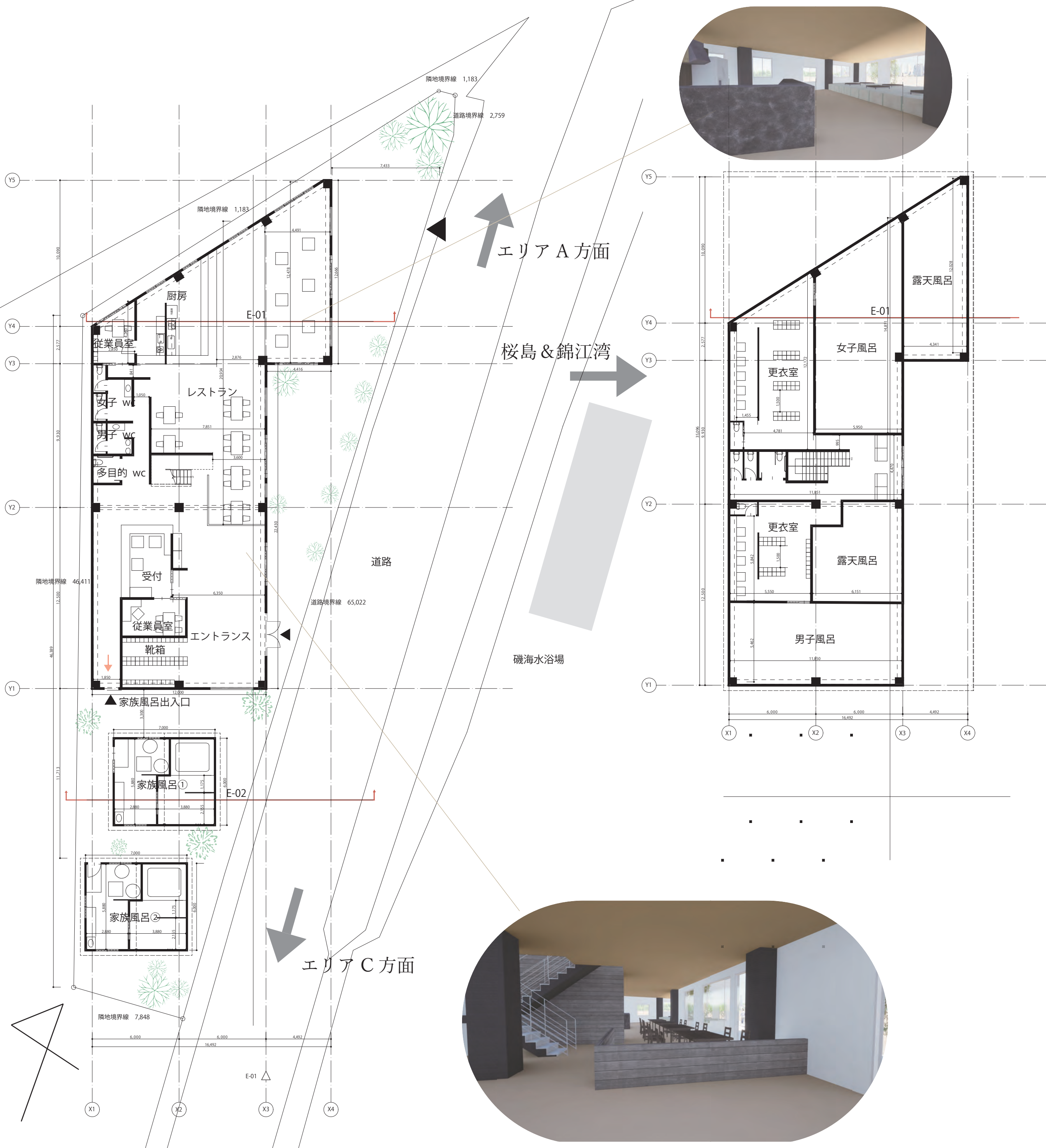


現状：駐車場

日帰り風呂＆家族風呂



外観



東側立面図 S=1/200

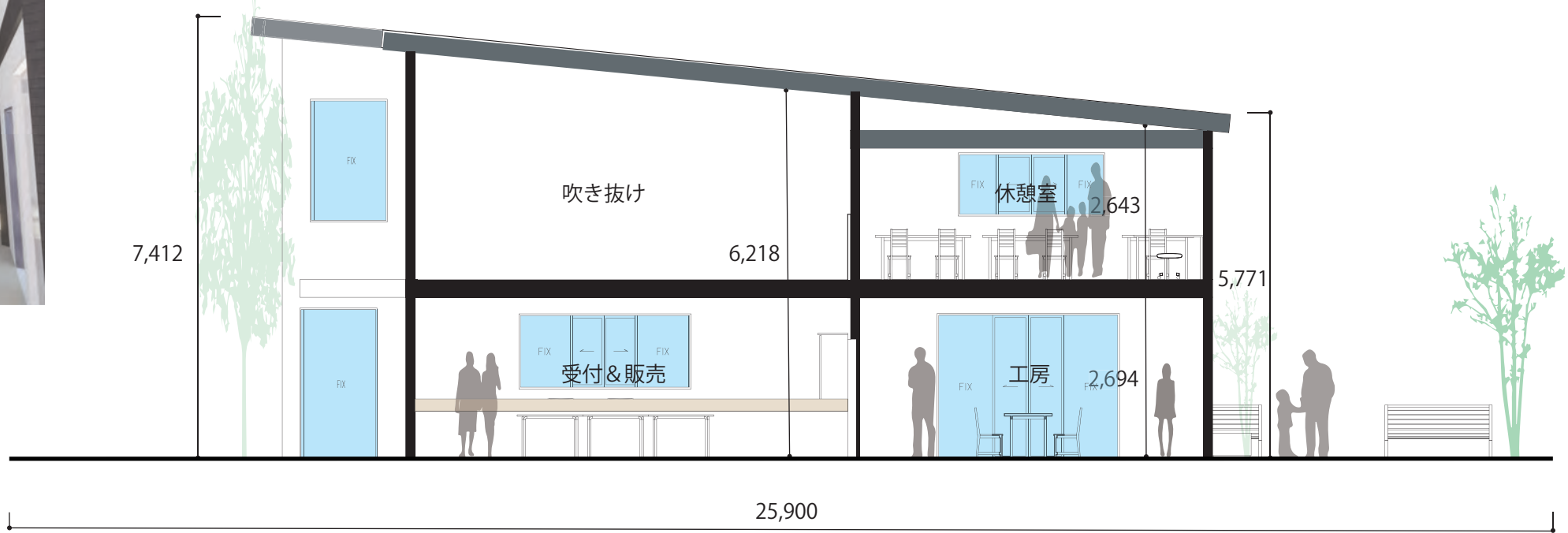
6-3 (3) 体験施設 火山灰アート体験



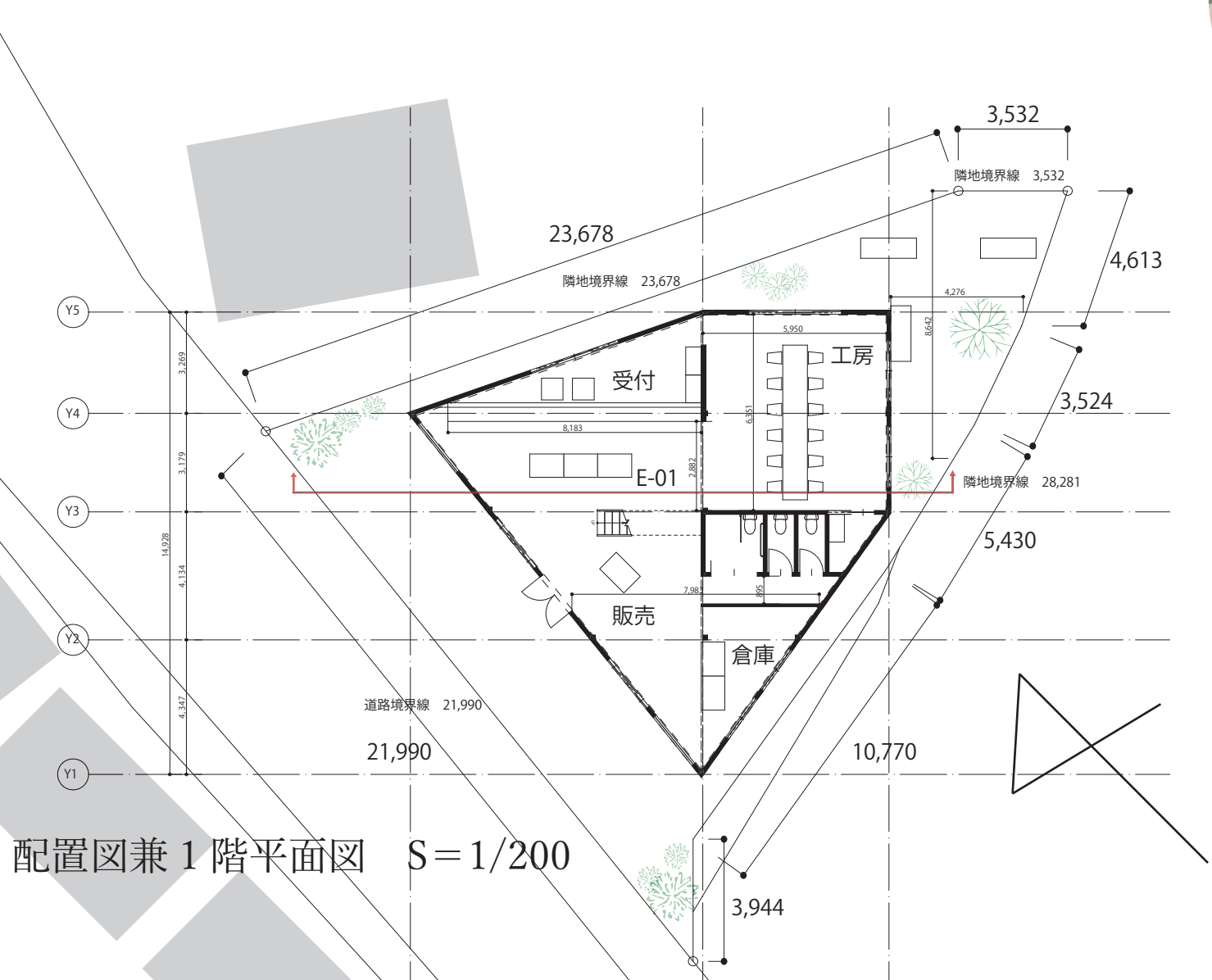
現状

火山灰を使ったアート体験
が出来る施設

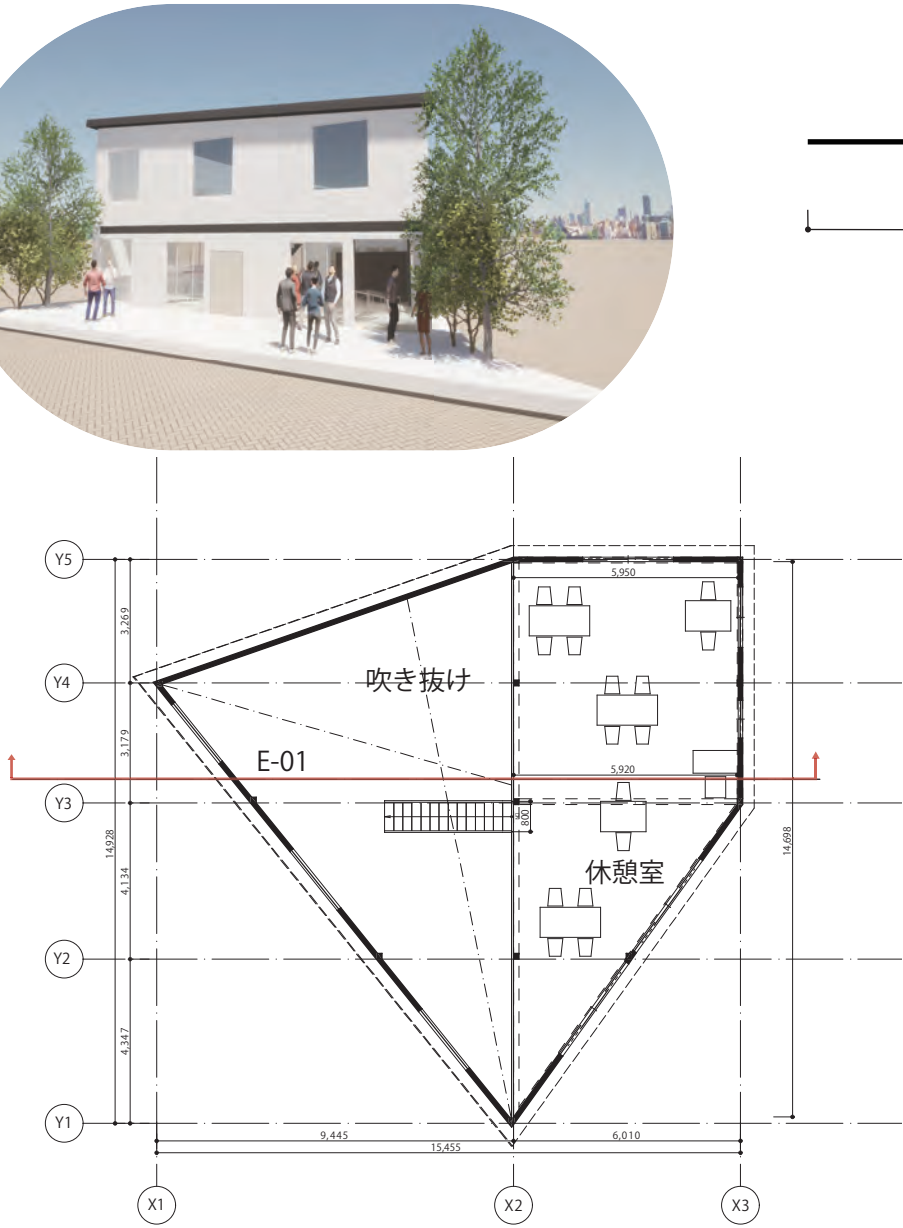
桜島＆錦江湾



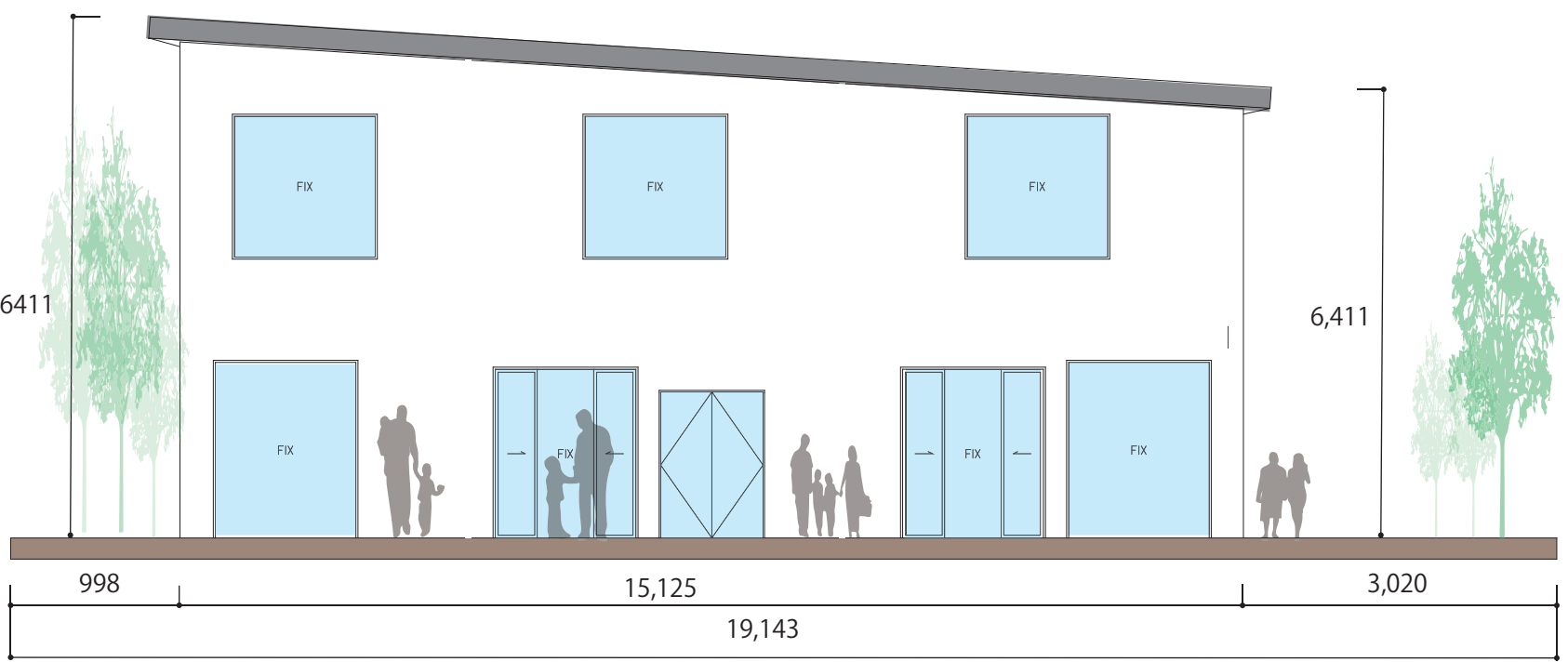
E-01 断面図 S=1/100



配置図兼 1 階平面図 S=1/200

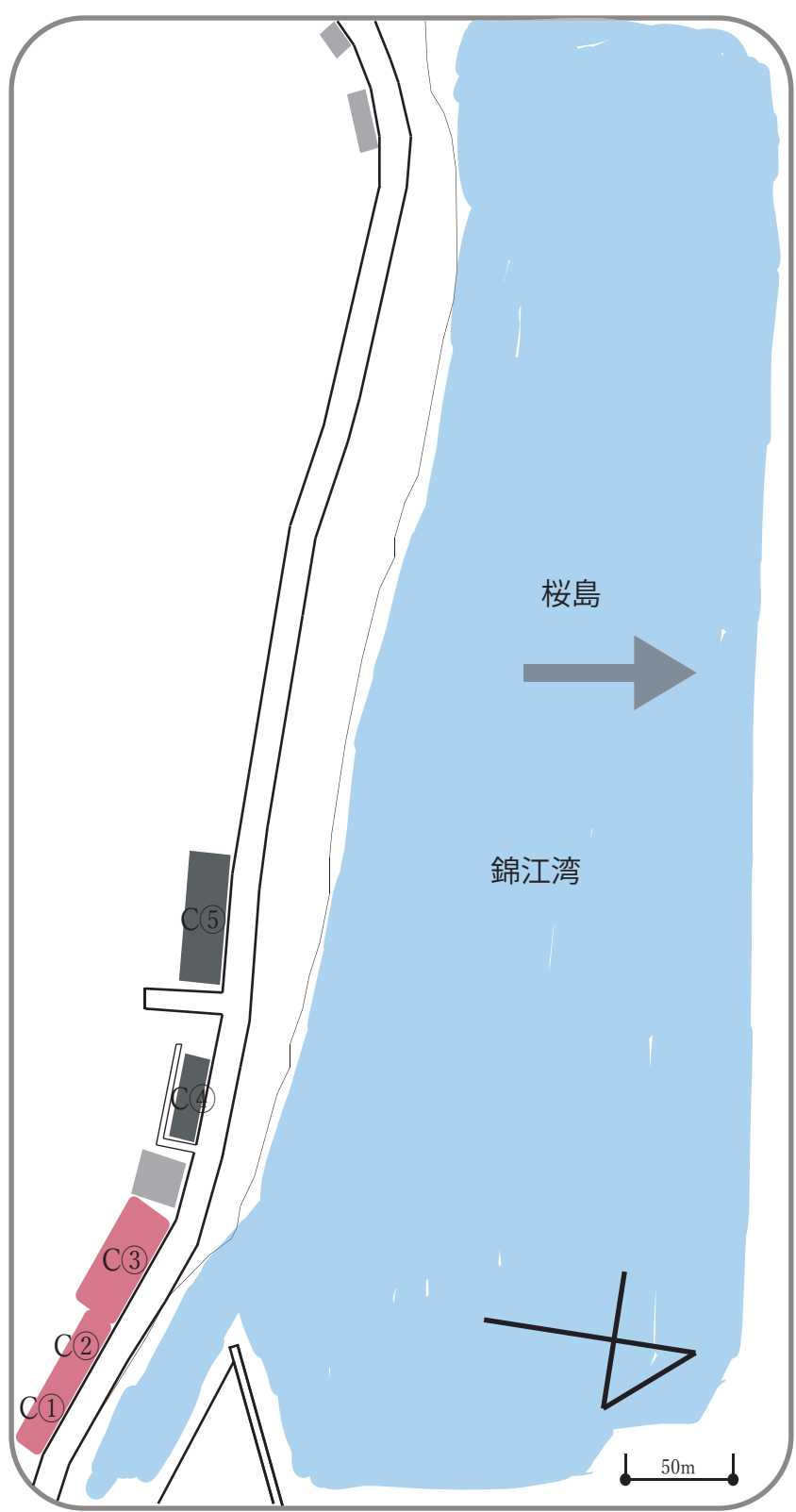


2 階平面図 S=1/200



西側立面図 S=1/100

7 エリアC



7-0 エリアの特徴

他のエリア比べて、建物が少なく落ち着いた雰囲気のあるエリアである。桜島と錦江を近くで一望することの出来る眺めの良い場所である。

7-1 計画用途

C①②③: 宿泊施設・フロント、レストラン、店舗 etc



7-2 コンセプト

宿泊施設と店舗などの共有スペースが交わった桜島と錦江湾を正面に位置した開放的な空間を計画した。
山をイメージした外観は、敷地中央に誰もが自由に利用出来るスペースを計画した。

7-3 敷地の現状と活用・計画提案



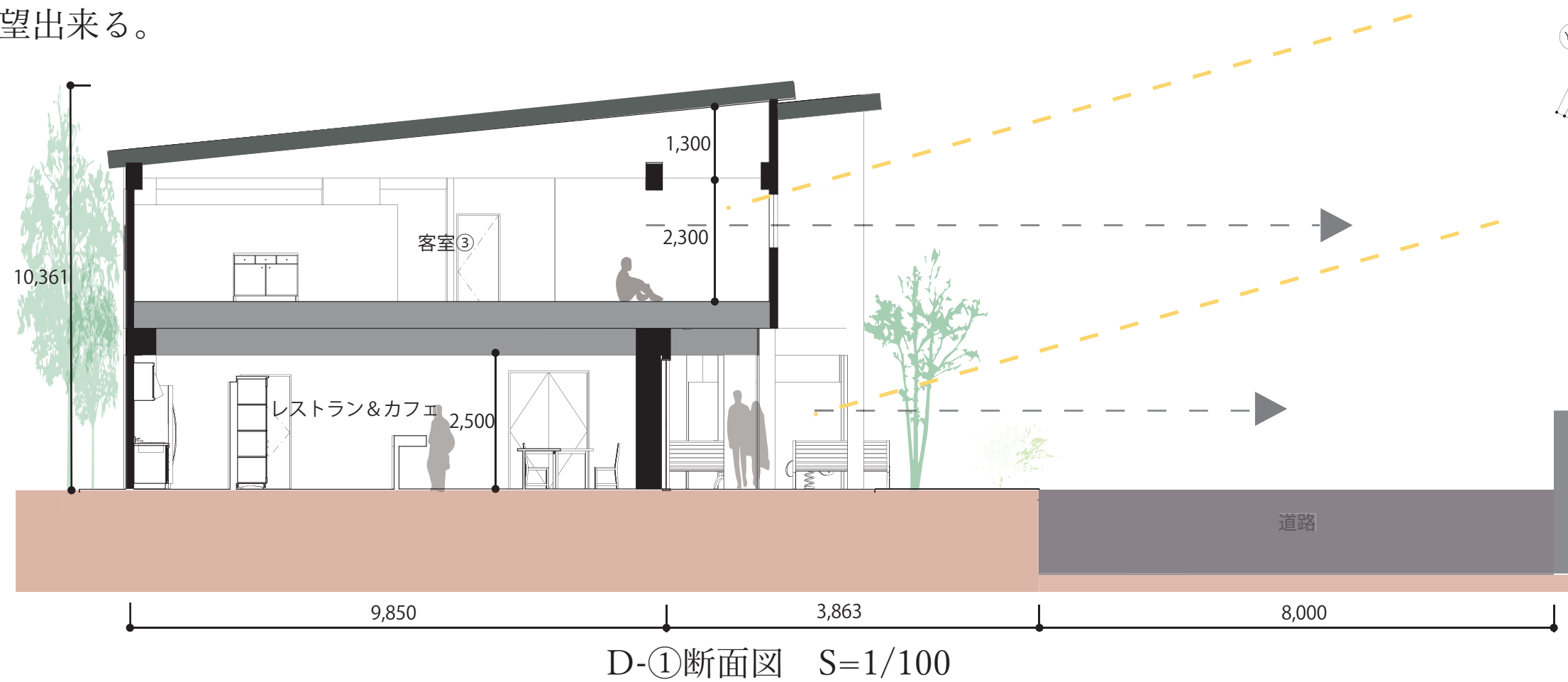
現状

- ・C①②③に、街をイメージしたホテルと店舗、レストランなどが並ぶ空間。
- ・海沿いに面した敷地である為、桜島を一望出来る。

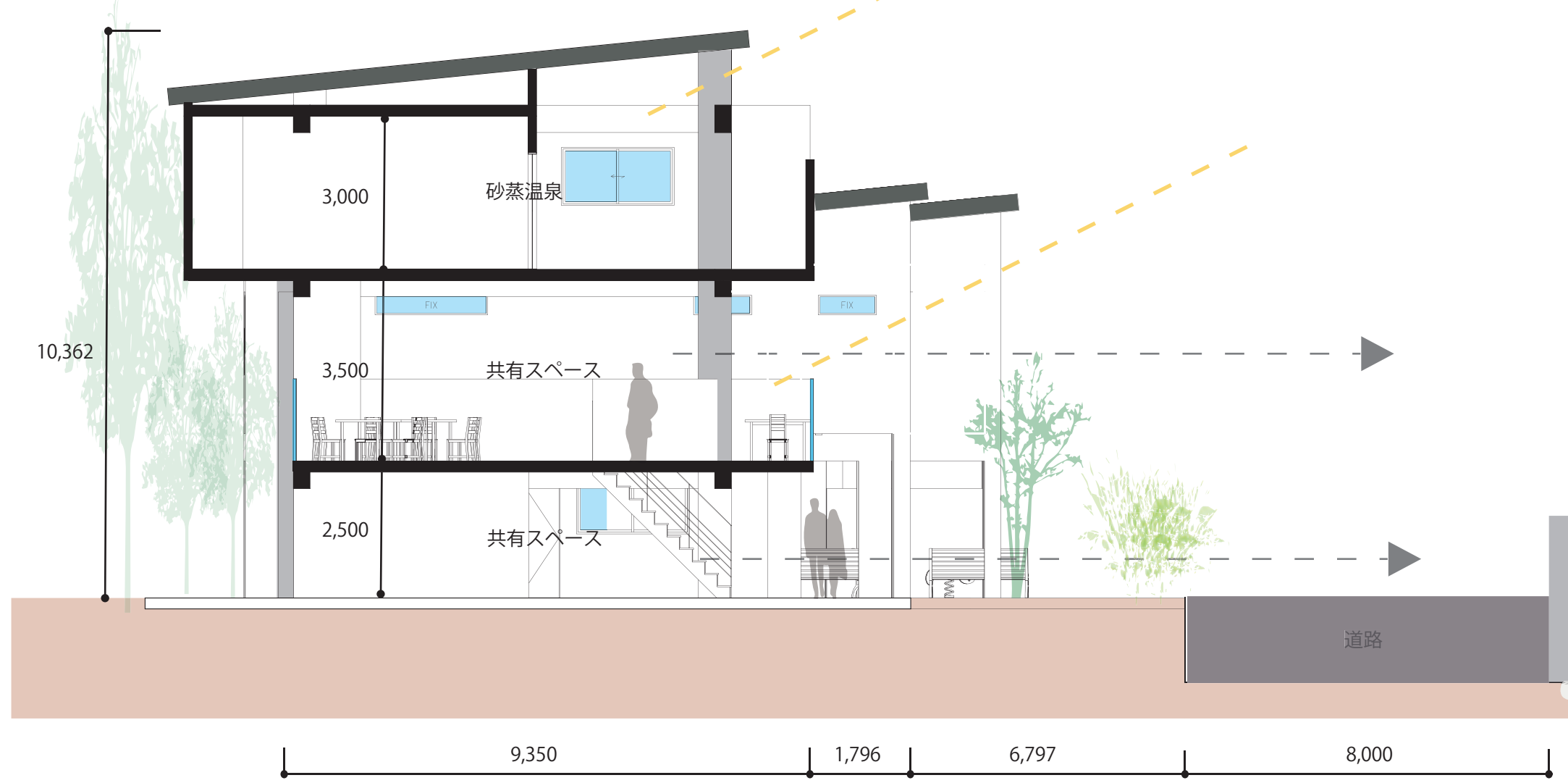
配置図兼 1 階平面図 S=1/200

2 階平面図 S=1/200

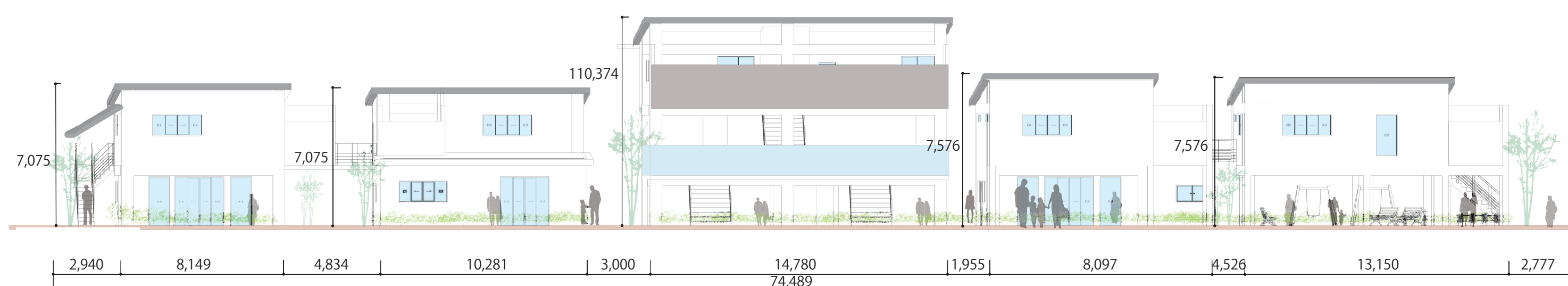
3 階平面図 S=1/200



D-①断面図 S=1/100



D-②断面図 S=1/100



東立面図 S=1/200

7-4 企画



※イメージ写真

イベント会場として活用

キッチンカー・マーケットでの買い物や地元の子供たちによる舞台発表など